

報告日： 2022年3月3日

令和3年度「私立大学ガバナンス・コード」遵守状況報告書

表紙（概要）

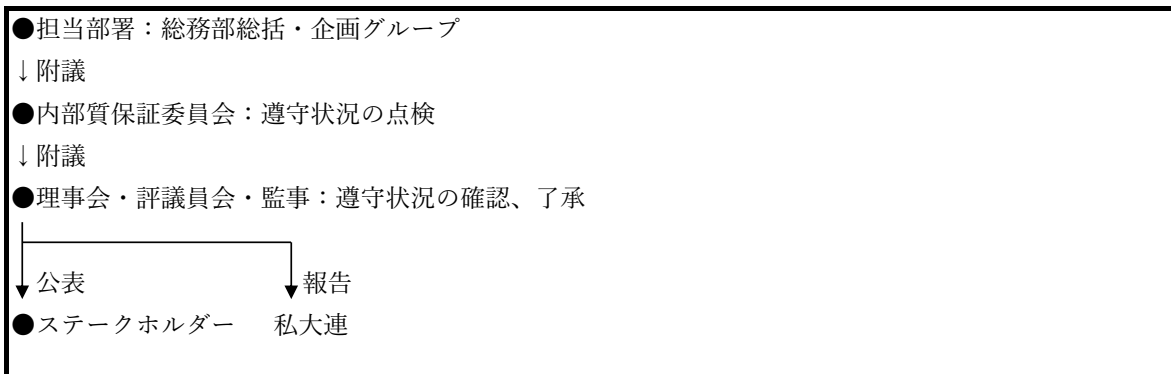
1. 法人名等

法人名	学校法人トヨタ学園
法人代表者	理事長 増田義彦
担当部署	豊田工業大学 総務部総括・企画グループ
お問合せ先	052-809-1717

2. 「基本原則」及び「遵守原則」の遵守概況

基本原則	基本原則の遵守状況	遵守原則	遵守原則の遵守状況
I. 自律性の確保	未遵守	1-1	③「遵守不十分」
II. 公共性の確保	遵守	2-1	①「遵守」
		2-2	①「遵守」
III. 信頼性・ 透明性の確保	遵守	3-1	①「遵守」
		3-2	①「遵守」
		3-3	①「遵守」
IV. 継続性の確保	遵守	4-1	①「遵守」
		4-2	①「遵守」

3. 遵守状況の確認フロー図



「基本原則」及び「遵守原則」の遵守状況（取組状況）の詳細等

1. 各「遵守原則」の遵守状況の説明

基本原則「1. 自律性の確保」

遵守原則1-1 教育研究目的の明確化、理解の獲得

遵守状況	③「遵守不十分」
遵守原則の遵守方法に係る説明	<p>建学の理念「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」をもとに定めた本学の目的を学内外に明示するとともに、これらをもとに策定した中期プランⅢ(2019-2023)に基づき、事業活動を推進している。また、学長をはじめとする学内関係者が出席する確認会議を毎年開催し、進捗状況を点検・評価するなど、ガバナンス機能の向上を続けており、遵守原則1-1を概ね遵守できている。</p> <p>なお、実施項目1-1「④中長期計画において、理事長をはじめ政策を策定、管理する人材の育成、登用の方針を盛り込む。」については、取り組むべき課題と認識しており、今後検討を行う。</p>

基本原則「2. 公共性の確保」

遵守原則2-1 有益な人材の育成

遵守状況	①「遵守」
遵守原則の遵守方法に係る説明	<p>建学の理念に基づき、中期プラン、事業計画、3つのポリシーを策定するとともに、2020年度に新キャンパスを竣工、2022年度に学部新カリキュラムを施行するなど、有益な人材育成に向けた教育研究環境の整備に努めている。また、自己点検評価やIR活動を通じたPDCAサイクルにより、教育研究活動の高度化に取り組んでおり、遵守原則2-1を遵守できている。</p>

遵守原則2-2 社会への貢献

遵守状況	①「遵守」
遵守原則の遵守方法に係る説明	<p>社会貢献・社会連携に関する方針に基づき、教育面では「学外実習への本学学生の企業派遣」や「社会人の学生受け入れ」、研究面では文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム事業」による研究設備の利用促進などの産学連携活動を推進している。また、天白区との連携協定締結や地域活動への学生参加などの地域連携、他大学（南山大学、愛知大学、名古屋市立大学）との連携、TTIC（豊田工業大学シカゴ校）をはじめとする大学・研究機関との国際連携等を通じ、社会貢献活動に取り組んでおり、遵守原則2-2を遵守できている。</p>

基本原則「3. 信頼性・透明性の確保」

遵守原則3-1 法令の遵守、社会貢献

遵守状況	①「遵守」
遵守原則の遵守方法に係る説明	監事監査規則に基づき監事監査計画を定めている。監査を実施し、理事会で報告している。また、2018年に監事支援室を設置し、監事支援体制を整備している。監事会を年3回実施するとともに、会計監査人および内部監査室と三様監査意見交換会を開催し、監事機能の実質化を図っている。監査結果は、理事会において監事が報告を行っている。その他、監事に対する研修機会を提供して監事機能の向上に努めるなど、社会からの理解と信頼を確保する活動に取り組んでおり、遵守原則3-1を遵守できている。

遵守原則3-2 理事会による執行、監督機能の実質化、不正防止制度整備

遵守状況	①「遵守」
遵守原則の遵守方法に係る説明	法令等の遵守に係る基本方針・行動基準を定めた就業規則等の諸規程を学内公開し、学内周知を図るとともに、トヨタ学園公益通報等に関する規則を定め内部通報の対応体制を整備している。また、内部監査規則に基づき内部監査室を設置して、本学への信頼を損なう可能性がある法令違反・不正行為等の学内リスクをとりまとめ、監事会および理事会で報告している。その他、監事・会計監査人・内部監査室による三様監査を行うなど、理事会によるガバナンスを担保する内部統制体制の整備・拡充に取り組んでおり、遵守原則3-2を遵守できている。

遵守原則3-3 積極的な情報公開

遵守状況	①「遵守」
遵守原則の遵守方法に係る説明	情報公開・開示に関する規則および広報規則に基づき、正確性・透明性の確保、迅速かつ網羅的な収集および公表に留意しつつ、教育研究活動および財務に関する情報を本学ホームページ等で公開している。また、公開内容は幅広いステークホルダーの理解が得られるよう、ホームページの配置や常識的で平易な表現などの工夫に努めている。 事業報告書にて、本学活動の進捗状況と自己点検結果を公表するとともに、認証評価結果等の外部評価に関する情報を公開している。公表した情報は、学生を派遣する企業や連携大学、地域住民等から定期的に意見を伺い、本学の政策に反映する取組・体制を整備しており、遵守原則3-3を遵守できている。

基本原則「4. 継続性の確保」

遵守原則4-1 大学運営に係る諸制度の実質化、自律的な大学運営

遵守状況	①「遵守」
遵守原則の遵守方法に係る説明	<p>寄附行為等の定めに基づき、大学運営に係る政策の策定責任者は理事長、管理責任者は学長および専務理事が務めている。</p> <p>関係法令に基づき、理事会、監事および評議員会等の役割について寄附行為に適切に規定するとともに、それに基づく適切な運営を行っており、有効な相互牽制が働いている。理事会・評議員会の組織運営にあたっては、外部人材の積極的な登用、学校法人の規模を踏まえた適正な評議員定数を遵守している。</p> <p>また、大学運営に関する方針に基づき、教学運営組織と法人組織との役割・権限・責任を教授会規則等で明確化するなど、ガバナンス機能の実質化に努めており、遵守原則4-1を遵守できている。</p>

遵守原則4-2 財政基盤の安定化、経営基盤の強化

遵守状況	①「遵守」
遵守原則の遵守方法に係る説明	<p>寄附金については、本学の目指す将来像をビジョンとして明確化するとともに、大口寄附者への理解活動を積極的に行うことにより、2020年度に新キャンパスが完成するなど、教育研究環境の充実・安定化に努めている。今後は本学OBを中心とした個人寄付の拡大を図る予定である。</p> <p>研究に関する外部資金についても、本学教員の活発な研究活動により高い水準を維持している。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症や大規模地震災害などの危機対応として、本部組織による指揮管理、BCP計画の策定、想定訓練の定期実施などにより危機管理体制を整備している。</p> <p>このように財政基盤の安定化と経営基盤の強化に日々努めており、遵守原則4-2を遵守できている。</p>

2. 追加事項

--